

創立百十周年 記念式典



滋賀県立
大津商業高等学校

記念式典

13:00~14:00

司会 田中正春

開式の辞	教頭	奥村伸司
国歌斉唱		
物故者への黙祷		
学校長式辞	校長	堀井善之
実行委員長挨拶	実行委員長・同窓会長	栢木進
来賓祝辞	滋賀県議会議長	西村久子様
	滋賀県教育委員会教育次長	川上昌道様
	大津市長	越直美様
来賓紹介	教頭	奥村伸司
祝電披露		
記念事業目録贈呈	実行委員長	栢木進
慶びの言葉	P T A 会長	木原温子
	生徒会長	橋本大樹
校歌斉唱		
閉式の辞	教頭	奥村伸司

記念講演

14:15~15:45

司会 田中正春

演講	題師	「笑いはこころのビタミン剤」
		桂文枝氏

祝賀会

17:00~19:00

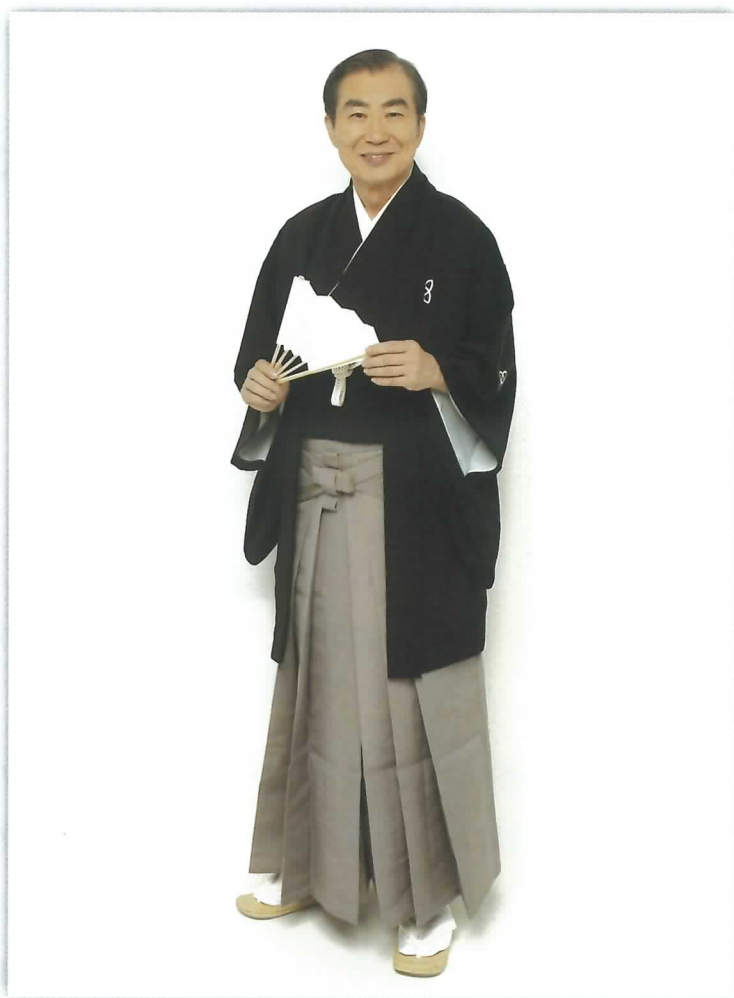
司会 鎌田香奈

開式の辞	同窓会副会長	内田知明
挨拶	同窓会副会長	竹内基二
来賓祝辞	滋賀県知事	三日月大造様
校長祝辞	校長	堀井善之
乾杯発声	同窓会顧問	佐野高典
万歳三唱	同窓会顧問	西岡喜市
閉式の辞	同窓会副会長	古川亘

かつら
桂
落語家、タレント

ぶん
文

し
枝



PROFILE

昭和18年7月16日生まれ、大阪府出身。

昭和42年、ラジオの深夜番組に出演し、若者に圧倒的な支持を得る。昭和44年にテレビの司会に抜擢されてから、数々のレギュラー番組を担当。昭和56年、「創作落語」を定期的に発表するグループ・落語現代派を旗揚げし、現在までに250作以上の作品を発表。二度の文化庁芸術祭大賞、芸術選奨文部科学大臣賞などを受賞し、平成18年秋には紫綬褒章を受章される。また、平成15年上方落語協会会長に就任。上方落語の定席「天満天神繁昌亭」建設に尽力。大阪の文化振興に貢献したことにより大阪文化賞特別賞を、平成19年には菊池寛賞を受賞され、秋の園遊会に招待される。平成24年7月16日、六代桂文枝を襲名。現在、国内外で落語会や講演会を開催するかたわら、落語家やタレントの育成に励み、また、大学で特別講義を担当するなど、教育・文化活動にも力を注いでいる。

略歴

平成15年 上方落語協会会長に就任
平成19年 外務大臣表彰
平成24年 六代 桂 文枝 を襲名
平成25年 大阪大学大学院国際公共政策研究科
客員教授
平成27年 関西大学人間健康学部客員教授

受賞歴

昭和58年 第38回 文化庁芸術祭大賞(大衆芸能部門)
昭和60年 第13回 日本放送演芸大賞特別功労賞
平成15年 第58回 文化庁芸術祭大賞(演芸部門)
平成17年 池田市民栄誉賞
平成18年 第56回 芸術選奨文部科学大臣賞
(大衆芸能部門)
紫綬褒章
大阪文化賞特別賞
平成19年 第55回 菊池寛賞
平成23年 第62回 日本放送協会放送文化賞
平成25年 岐阜市民栄誉賞
第48回大阪市民表彰
平成27年 旭日小綬章

他多数

創立百十周年記念式典にあたって



滋賀県立大津商業高等学校 校長
堀 井 善 之

ご来賓の皆様をはじめ多数の同窓会員、保護者の皆様にご臨席をいただき本校創立百十周年記念式典を挙行できますことは教職員、生徒一同この上ない喜びであり、学校を代表して心からお礼を申し上げます。

本日の記念式典に際して、私たち、教職員、生徒は、これまで歴代の校長先生をはじめご勤務いただいた先生方、在学された生徒の方々が築かれた輝かしい伝統と成果に感謝しながら、それらをもとにして本校発展のためにさらに努力しようと気持ちを新たにしております。これからも本校教育の進展を見守っていただくとともに、一層のご指導、ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日の記念式典開催と記念事業推進にたいへんご尽力いただきました創立百十周年記念事業実行委員会の栢木 進実行委員長をはじめ実行委員の皆様、そして、本日ご臨席いただきました皆様に重ねて深く感謝申し上げまして記念式典にあたっての挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ



創立百十周年記念事業実行委員長・大商同窓会会長
栢 木 進

本日ここに滋賀県立大津商業高等学校の創立百十周年記念式典が多数のご来賓のご臨席を賜り、挙行できますことは実行委員長として至上の喜びであります。

平成 17 年に創立百周年を祝う盛大な式典と祝賀会が行なわれ、早や 10 年の歳月が流れました。この 10 年間は、先輩諸姉、諸兄の造り上げられた 100 年の歴史へ更に新しい歴史を重ねあげていくことの責任を感じ、次の世に繋いでいく 10 年と位置付け、同窓会会長としても母校の発展に努めてまいりました。次代の「大商」の変革を想起しますと、あらたに 110 年の星霜の深みを感じる次第であります。

最後になりましたが、平成 25 年 7 月より 2 年 4 ヶ月余りに亘り多大なご尽力をいただきました「創立百十周年記念事業実行委員会」の皆様方に衷心より厚くお礼申し上げますとともに大津商業高等学校が益々発展されますことを祈念して、お祝いの言葉といたします。

校歌

輝かしく

高橋茂道・作詞

松島 彝・作曲

わ か き

い の ち み ど り に も え て は て し な く そ ら す み

と お る の ぞ み た か く ま な ぶ わ れ ら

こ こ に あ り 大 津 商 業 こ う 校 校

(一) 若き生命 緑に燃えて
涯しなく 空澄み透る
希望高く 学ぶ
われらここにあり 大津商業高校

(二) 若き歌 比叡に響けば
湖こえて 鈴鹿の山呼ぶ
朗らかに 集う
われらここにあり 大津商業高校

(三) 若き力 溢れ動けば
風狂い 雲は渦巻く
眉あげて 進む
われらここにあり 大津商業高校

(四) 古き人 つくりしものを
のりこえて より美しき
次の世を に な う
われらここにあり 大津商業高校

101年～110年のあゆみ

2006年(平成18年)

「翔陵会館」命名される

創立100周年の記念事業であったセミナーハウス建設事業が進められ、11月には竣工式典が挙行了れた。セミナーハウス



は「翔陵会館」と命名された。1階には約90人収容の研修室・厨房・浴室が整備され、2階には宿泊室(和室)3部屋と管理室2室が整備された。

フロンティアハイスクール事業終える

平成15年度より文部科学省から研究指定を受けすすめられてきた「学力向上フロンティアハイスクール事業」は、高大連携や地域連携に一定の成果をあげ昨年度末で、また、県教育委員会指定の「アクティブハイスクール事業」が今年度末で終了を迎えた。

今年度においては、県金融広報委員会からの指定を受け、2年間の「金融教育研究校」の指定を受けることとなり、講演会など諸事業が実施された。進展する社会の変化に対応し、地域社会に貢献する人材の育成について、ビジネス教育のあり方が問われている。これらの研究や実践を推進することにより本校のあるべき姿が模索されている。

大商フォーラム開催される

11月に「大商フォーラム」が全校生徒や保護者、卒業生の参加のもと津市民会館で行われた。第1部では講師に毎日新聞社総



合事業局企画開発部長の塩田敏夫氏をお迎えし、大津支局長時代のエピソードを中心に、人々との交流から新聞記者としてのやりがいを実感したというお話を伺った。第2部では「進路について考える」というテーマで、学校評議員、PTA、同窓会長、卒業生、在校生をパネラーとしたパネルディスカッションが行われた。先輩達からは「夢と希望を持つこと」や「努力すること」の大切さを体験談から教えていただいた。

2007年(平成19年)

第20代疋田勝司校長就任 生活指導強化進む

地域に貢献できる人材を育成し、魅力ある大商をめざし、本校の指導重点目標に次の3つを加え、重点的に取り組むことが確認された。



①遅刻・身だしなみ指導の徹底

②規範意識を醸成し、いじめのない学校作り

③ネット社会における情報モラルの育成

の3点である。特に身だしなみについては、湖西周辺に於いて生徒が危険にさらされる報道があったことから、如何に生徒を保護していくのかとの観点から地域をあげての取り組みでもあった。「厳しすぎる」「学校がおもしろくない」などの生徒の声に、制服の着こなしや身だしなみは、その人の「人となり」を表す。「厳しすぎる」が「当たり前」になるよう取り組みが続けられた。現在の落ち着いた学校の生活環境は、この取り組みが大きな転機となり今日に至っている。

大商史料館へと改名

セミナーハウス「翔陵会館」の完成に伴い、昭和53年に建設された「大商会館」(研修兼合宿所)は、その名を「大商史料館」と改名された。内装あらたに諸資料の保管展示を担う施設となった。併せて「大商史料館管理運営委員会」が設置された。施設概要として、1階は研修室として、会議用の設備が設置され、2階の2室は展示室、1室を管理室として整備された。商業教育の歴史をたどる諸資料、教具や実習機、部活動の祝勝旗や盾、賞状、トロフィーのほか同窓会員の方々から寄せられた在学時代の思い出の品々など多くの足跡がおさめられ、今もなお貴重な資料や品々が届いている。



101年～110年のあゆみ

2008年(平成20年)

関西商業教育研究大会滋賀大会が開催される

「次代を見つめたビジネス教育の創造」を大会テーマに、第44回関西商業教育研究大会滋賀大会が天津市におの浜にあるピアザ淡海を会場に開催さ



れた。近畿2府4県各校の先生方と連携し、滋賀県商業教育研究会の事務局を預かる本校が中心となり準備が進められた。8月20日と21日の両日、前文部科学省視学官 吉野弘一氏をお迎えし、近畿2府4県から約160名の商業教育に携わる先生方が参加された。大会は、県内企業である新江州株式会社代表取締役会長 森 建司氏の「持続可能型社会の構築に向けた人材育成」と題して、これからの経済社会における人材育成のポイントを近江商人の考え方を参考に講話をいただいた。続いて県内外の先生方より各分野の研究発表が行われ、質疑応答など積極的な意見交換がなされた。大会の最後には、文部科学省中等教育局教科調査官 西村修一氏より講評と講話をいただき2日間の大会が閉じられた。

卒業行事が行われる

卒業を間近に控えた第3学年において、「卒業行事」として3つの取り組みが行われた。年の瀬せまる12月17日、滋賀県赤十字血液センターの協力のもと、



本校に献血車2台を配置し、「献血活動」がおこなわれ、約100名の協力があつた。同月18日・19日の両日放課後に「地域清掃」として学舎とその周辺地域を中心に学年の多くの生徒が3年間で振り返りながら清掃活動が行われた。また、同月18日、体育館において3年生の生徒がパネラーとなり、1・2年生を前に進路を決定するまでの苦労やエピソードなどを語る「進路体験談発表会」が行われた。3年生各クラスから1～2名、進学・就職を代表した生徒に対して、司会者(学年主任)の先生からインタビュー形式で進められた。1・2年生の生徒達には、やがて来る自分の進路に向けた取り組みに、先輩達それぞれの言葉がずっしりと響いているようであった。

2009年(平成21年)

教員免許更新講習はじまる

平成19年6月の改正教育職員免許法の成立により、平成21年4月1日から教員免許更新制が導入されることになり、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付け、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目的としてはじまった。本校においても、更新年度に該当する先生方が、野洲市希望ヶ丘にある滋賀県総合教育センターや県内外の大学において実施される講習会に参加し資質能力の向上に努められていた。また、受講した先生から講習会の様子や内容が職員室の話題になり、多くの場面で研修が進められていた。

パソコンLANシステム更新される

平成21年9月に産業教育にかかるパソコン機器の整備についての整備方針が出され、Windows2000以前のパソコン、および整備後5年以上経過したパソコンを更新することとなった。当初、更新の対象となるパソコンが216台であったが、予算の都合上、第4プログラミング室をのぞく、第1・2・3・5実習室と情報総合実践室の計193台を平成22年3月までに更新することとなった。大規模な更新で更新期間も非常に短かったため、商業科教員が中心となって、旧パソコンの撤去や実習室の清掃、机の移動などが行われた。



2010年(平成22年)

第21代三鼓修平校長が就任。

新総合実践システムによる授業始まる

入学時より専門的に学習してきた商業に関する専門学習を実践的かつ体系的に学習し、基本的な事務の流れや経営感覚及び企業におけるコンピュータの役割などをシミュレーション実習することにより、



実体験として理解を深めるために、第3学年の教育課程に組み入れられている「総合実践」の授業において、昨年度末に更新になったネットワークシステムにあわせて、「新総合実践システム」が導入され指導が始まった。

この総合実践システムは、コンピュータ上の簡易な模擬的市場における売買活動を試行することにより、総合実践教育を効率的に行えるように支援するシステムであり、各製造会社、商店、百貨店等は、処理業務をメニュー画面より選択して、リアルタイムに実行することができ、コンピュータによってそれぞれの事務手続きに必要な帳票作成などの仕事がなされるのと同時に、必要な会計処理も自動的(自動仕訳処理)に行え、管理資料を表示・出力することにより、「在庫管理」、「資金管理」を体験的に学習できるシステムである。決算時における各商店の貸借対照表、損益計算書の作成など、実企業における実践を擬似的に体験しながら3年間の専門学習において得た知識を総合的に活用する力の育成に役立っている。



2011年(平成23年)

耐震工事が始まる

第2校舎1階の物理室、化学室、音楽室、同2階の図書室、書道室については解体されることとなり第2校舎はその姿を3分の1に縮小されることとなった。校門正面にあったテニスコート場に、新たに第5校舎として、第1理科室、第2理科室、音楽室、書道室、図書室が入る特別教室棟が完成した。3面あったテニスコートは、当面は1面のみ翔陵会館とアーチェリー場の間に移設された。耐震工事の内容として、第1校舎・第2校舎の耐震補強とスリットの設置、体育館の補強及び床の全面貼り替え工事が進められた。

パソコンLANシステム更新～21台



平成22年3月に予算の都合で更新できなかった1部屋(簿記実習室)が8月に更新された。今回の更新で最新のパソコンが導入された。今までのパソコンとの大きな違いは、ディスプレイがスクエアから、ワイドになったことである。この更新後、部屋の名前を簿記実習室からネットワーク実習室に改変された。

学習指導要領改訂に伴い 先行実施始まる

平成21年3月に告示された高等学校学習指導要領に従い、理科、数学の2教科において先行実施が始まった。また、平成25年度入学生からの実施に向け、教育課程の編成会議が進められた。

101年～110年のあゆみ

2012年(平成24年)

新教育課程の編成進む

平成21年3月に告示された高等学校学習指導要領に従い、学校の柱である教育課程の改正が進められた。とりわけ商業の専門科目においては、大きくその科目名が変更された。科目は、ビジネス基礎、課題研究、総合実践、ビジネス実務、マーケティング、商品開発、広告と販売促進、ビジネス経済、ビジネス経済応用、経済活動と法、簿記、財務会計Ⅰ、財務会計Ⅱ、原価計算、管理会計、情報処理、ビジネス情報、電子商取引、プログラミング、ビジネス情報管理の20科目となった。

また、専門学科においては、専門教科・科目について、全ての生徒に履修させる単位数は25単位を下らないこととされ、商業に関する学科においては外国語に属する科目の単位を5単位まで含めることができることとなった。この改定を受け、本校でも新教育課程(平成25年度入学生より適用)の編成が進められた。特徴として次のことがあげられる。

総合ビジネス科教育課程においては、次の類型制が導入された。

●Ⅰ類(流通類型)

企業経営に関する知識を深め、経済社会の変化に柔軟に対応する能力、とりわけマーケティング能力の育成を主眼において編成された。

●Ⅱ類(会計類型)

企業会計に関する学習に重点を置き、会計活用能力の育成と簿記会計分野におけるスペシャリストとして活躍できる人材の育成を主眼において編成された。

●Ⅲ類(国際類型)

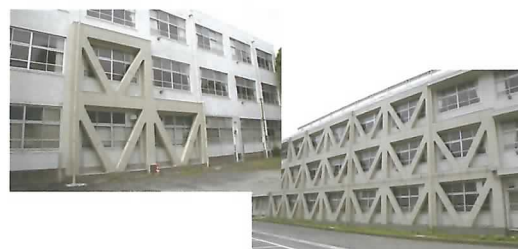
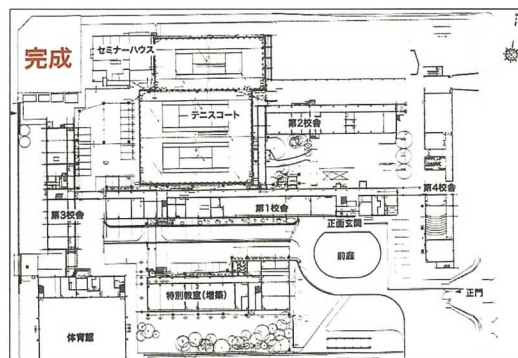
国際社会に貢献できるように、外国事情についての理解を深め、国際理解能力を育成し、外国語によるコミュニケーション能力の育成を主眼において編成された。

情報システム科の教育課程においては、IT(情報通信技術)が急速に進展する社会の変化に迅速に対応し、情報分野における専門性を深めた学習を通して、コンピュータ利用者における指導的役割が果たせる人材の育成を主眼に編成された。

2013年(平成25年)

耐震工事終了 新テニスコート完成

平成23年度から進められてきた校舎耐震工事がようやく終結することとなった。工事事務所が撤去され、跡地に最終工事としてテニスコートが新設され、学校全体に落ち着いた環境が戻ってきた。また、第1校舎に1階から3階までのエレベータが新しく整備された。写真は完成した新しい校舎の配置図、耐震補強とテニスコートで、エレベータである。また、創立90周年記念事業において整備された第1校舎と第2校舎の間の中庭はその3分の1を残すのみとなったが、新しくベンチが設置されるなど生徒の憩いの場として再整備された。



2014年(平成26年)

第22代 堀井善之校長が就任。 職の担い手育成事業進む

滋賀県教育委員会指定の「職の担い手育成事業」が本年度で終了することとなった。この事業は、

- ①地域連携と商業教育のあり方及び地域貢献人材育成
- ②外部講師招聘による活性化を目的に取り組まれた。

具体的には、1年次の科目「ビジネス基礎」において、ビジネスの世界、経済生活とビジネス、その役割と発展・課題、コミュニケーションについての学習、ビジネスマナー講座の実施、企業人や社会人による講演会、インターンシップなどを通して体験や学び得た内容を発表するなど多くの内容が展開された。



太陽光発電用施設の設置と 体育館照明のLED化進む

広域避難場所の整備事業として第5校舎屋上に太陽光パネルが設置された。また、体育館照明がLED化された。体育館の照度が大幅にアップし、晴れ晴れとした雰囲気をもった施設に変貌を遂げた。



2015年(平成27年)

創立百十周年記念式典挙行される

11月21日土曜日、大津プリンスホテル(大津市におの浜)において創立百十周年記念式典を挙行。

アーチェリー部が女子団体で全国 制覇 高校2冠達成!

平成27年度全国高等学校総合体育大会(近畿インターハイ:奈良県橿原陸上競技場)にて、アーチェリー部女子団体決勝、年代別日本代表を擁する経験豊富な相手チームを相手に自分たちのプレーをやりきり優勝した。30年ぶり4度目となる優勝であった。

また、第70回国民体育大会(和歌山国体:和歌山県南山スポーツ公園陸上競技場)では、アーチェリー部員で構成された滋賀県少年女子選抜チームが、県勢として13年ぶり5度目となる優勝をさめた。本校アーチェリー部が、高校2冠を成し遂げた。



写真 国体優勝を決め笑顔を見せる
(左から)川選手、田中選手、井上選手、中井監督

「専門高校 プロフェッショナル人材 育成事業」の取り組み

県教育委員会指定の研究事業として「専門高校プロフェッショナル人材育成事業」が実施され、この事業の一環として、情報システム科の第3学年、科目「電子商取引」の授業において、インターネットショッピングを運営する楽天株式会社と地元企業から栗東市のリビングアンドヘルス株式会社様の支援のもと、「楽天IT学校」が実施された。インターネット・ショッピングモール「楽天市場」の店舗運営ノウハウを高校生向けにアレンジした電子商取引の実践授業として、インターネット上における販売まで実践的な授業を通じてインターネットの可能性を知り、ビジネスに対する感性を磨く内容が展開された。他においては、情報システム科2年生の「ITパスポート特別講習会や第1学年の「職業人育成プログラム」と題して、生徒育成事業が取り組まれた。

楽天IT学校に参画

新学習指導要領における新科目「電子商取引」の実践的な授業を地元企業と連携して。楽天株式会社が「楽天IT学校」と題して主催し実施した。全国の商業高校の中から57校が参加。5月よりインターネットショッピングモール「楽天市場」の店舗において、インターネット販売における販売戦略の立案、ホームページ作りによる売り場の構築、商品のプロデュース、販売までの実体験を行う授業が展開された。具体的なカリキュラムは次の通りであった。

- (1)商品紹介のポイントを知る
- (2)電子商取引(EC)の基礎
- (3)マーケティングを考える
- (4)商品企画書の作成
- (5)WEBページ作成と販売
- (6)成果発表

歴代校長



●初代校長
溝田 義道
(昭和33年4月～36年3月)



●第2代校長
石島 愛知
(昭和36年4月～40年3月)



●第3代校長
束田 延尾
(昭和40年4月～43年3月)



●第4代校長
山田 清一
(昭和43年4月～46年3月)



●第5代校長
岩崎 武
(昭和46年4月～49年3月)



●第6代校長
北村 新一郎
(昭和49年4月～52年3月)



●第7代校長
小梶 幸三郎
(昭和52年4月～56年3月)



●第8代校長
中村 久男
(昭和56年4月)



●第9代校長
住田 英隆
(昭和56年4月～57年3月)



●第10代校長
完甘 彰
(昭和57年4月～59年3月)



●第11代校長
金子 嘉明
(昭和59年4月～62年3月)



●第12代校長
川道 博
(昭和62年4月～平成元年3月)



●第13代校長
川端 弘
(平成元年4月～3年3月)



●第14代校長
小梶 信治
(平成3年4月～6年3月)



●第15代校長
越後 道夫
(平成6年4月～9年3月)



●第16代校長
岩崎 準利
(平成9年4月～11年3月)



●第17代校長
輪木 文博
(平成11年4月～13年3月)



●第18代校長
佐野 裕郎
(平成13年4月～16年3月)



●第19代校長
七里 源一
(平成16年4月～19年3月)



●第20代校長
疋田 勝司
(平成19年4月～22年3月)



●第21代校長
三鼓 修平
(平成22年4月～26年3月)



●第22代校長
堀井 善之
(平成26年4月～)

創立百十周年募金・協賛金者ご芳名

(順不同、敬称略)

旧職員

川 合 静 江
浅 田 幸 作
梅 村 妙 子
笠 沼 和 雄
故 川 端 弘
小 泉 正 美
小 梶 幸三郎
小 梶 信 治
佐 藤 尚 弘
佐 野 裕 郎
多 胡 賢 二
田 中 潤 子
田 村 光 宏
辻 忠
橋 部 直 美
中 村 兵 司
二 宮 里 子
西 村 文 子
越 後 道 夫
疋 田 勝 司

昭13県

嶽 山 好 男

昭14県

大 橋 浩 三
松 室 六兵衛

昭16県

西 村 裕 幸
糸 田 次 雄
西 村 正 雄
山 田 満 彦

昭18県

磯 田 稔
稲 塚 稔
植 村 正 義
北 川 外三郎
園 繁 藏

竹 内 俊 次
内 藤 良 一
山 本 一 夫
横 田 彦 昭

昭20県⑤

今 井 保 男
竹 内 康 夫

昭20県④

大 塚 久次郎

昭21工

竹 村 欣 三

昭22工

上 田 寛
長谷川 邦 男

昭23工

川 合 清
北 川 澄 哉
郷 間 順 治
塚 越 義 一
森 田 俊 男
西 岡 義 男

昭26大

岡 田 明 男

昭27大

田 中 善一郎
堀 口 博 康

昭28西

鵜 飼 正 夫
大 石 芳 三
加 藤 雅 之

昭29西

伊 藤 佳 祐
奥 村 司
北 脇 弘
松 井 峯太郎

昭30西

木 村 孝 次

田 中 忠 義
平 尾 武 詩
八 木 國 雄
遠 国 房 江
貝 嶋 信 子
柏 清 子

昭31西

大 橋 稔
高 井 義 三
四 宮 省 三
山 本 寛 治
山 本 みつ子
近 藤 洋 子
今 井 久 枝
藤 本 那智子

昭32大

井 戸 昭 男
城 幸 和
山 本 壽 子
藤 崎 幸 重

昭33大

相 川 良 和
大 村 武
西 山 正之助
平 野 保
和 田 武
橋 田 聖 子
馬 場 正 忠
松 井 正 一

昭34大

北 出 英 喜
西 條 保
米 田 多智夫
野 村 喜美子

昭35大

富 山 順 子
谷 口 智恵子

奥 村 よ志江

昭36

佐 治 彰
鈴 木 義 信
滝 實 夫
中 森 茂
西 村 毅
船 越 勝 幸
村 上 正 治
吉 田 勝
杉 本 秀 子

昭37

井 上 賢 三
岩 田 友 良
小 原 祥 介
広 岡 貞 之
松 田 寛
福 島 滋 子

昭38

池 本 久 男
奥 田 常 晴
國 本 光 彦
杉 本 聖 雄
古 家 輝 二
山 田 一 彦
山 田 弘 志
吉 川 善 信
山 本 忍
中 西 義 男

昭39

石 井 良 三
石 田 清 高
宇 田 新 次
楠 井 春 雄
下 村 敏 夫
中 西 誠 志
林 四 良

片 山 房 子

山 内 茂 子

中 川 征 子

昭40

今 井 忠 雄
藤 本 一 也
村 上 嵩
島 田 早 苗
栗 納 正 江
小 林 裕 子

昭41

石 田 耕 一
北 川 作太郎
沢 井 克 巳
野 村 淳 介
古 川 亘
谷 口 博 子
大 井 静 子
石 田 みち代
東 條 慶 一
徳 井 建 吾
宇陀川 和 子

昭42

神 田 泰 幸
酒 井 和 夫
佐 野 高 典
角 谷 眞 弓
寺 田 博
馬 場 喜久雄
立 神 和 子
中 井 さち子
篠 原 さち子
樋 上 美和子
吉 岡 みつ子
森 江 潔
佐 野 紀美子
竹 端 孝 男

昭43

駒 井 勢 司
佐 藤 英 二
寺 尾 寛 治
西 村 光 男
山 森 邦 雄
吉 見 直 司
木 村 路 子
見 館 美知代
井 上 たか子
望 月 陽 子
西 本 喜久子
山 口 ともね

昭44

井之口 秀 行
田 口 孝 男
斎 藤 幸 子
安 土 悦 子
吉 岡 英 子
小 島 俊 明

昭45

上 野 隆 司
横 山 成 治
鍋 山 好 江

昭46

近 戸 仲 一
菅 野 文 世

昭47

横 井 桂 子

昭48

杉 野 明 美
堀 和 彦
市 木 洋 子
仲 江 恵 子

昭49

西 村 正 教
高 岡 富 江

創立百十周年募金・協賛金者ご芳名

片 山 博 子
北 川 智恵子
高 木 直 子

昭50

雲林院 弘 吉
栢 木 進
河 野 広 志
國 松 富士子
佐 野 恭 子
清 水 百合江
水 田 京 子

昭51

内 田 知 明
栢 木 裕 子
松 永 道 子
東 久美子
橋 本 三千重

昭52

織 戸 英 信
竹 端 初 美
大 原 淳 子

昭53

小 野 功
佐々木 正 彦
戸 田 和 行

昭54

安 田 武 浩
山 本 悦 子
山 本 敦 子

昭55

瀬 川 裕 海
山 口 よし美

昭56

松 本 正 樹
八 木 孝 夫
藤 村 津加江
瀧 瀬 みさ江

昭57

泉 岡 幸 子
小 島 万 知

昭58

田 中 正 春
細 田 義 浩
岡 嶋 朋 子
松 田 博 子
中 野 寿美子

昭59

上 坂 喜美子
山 本 陽 子

昭60

吉 田 竜 一
水 口 千 恵

昭63

徳 谷 英 昭
森 川 由里子

平元

林 裕 子

平 3

井 上 信 彦

平 4

井 上 豪
森 川 雅 子
中 川 ゆかり

平 5

和 田 真 司
和 田 泰
中 井 博 美

平 7

山 田 幸 一
栗 田 優 子

平11

竹 端 俊 貴

平12

栢 木 健 司

平14④

栢 木 紹 身

平15①

田 村 絵 里

平17③

弘 中 香 里

平18④

小 野 良 介

平22①

谷 口 苗 美

平23②

服 部 杏 奈

平24④

中 村 勇 斗

平25②

西 野 汐 梨
服 部 由 莉

平26⑥

奥 山 沙也花

平26⑦

岡 嶋 幸 美
安 田 友 希

平27③

大 野 冴 恵

平27④

羽 尻 航

平27⑤

井 上 裕 貴

一般

西 村 三千代

現職員

堀 井 善 之
奥 村 伸 司
古 橋 敦 子

前校長

三 鼓 修 平

(10月16日現在の受付分)

祝 大津商業高等学校創立百十周年

Prince Hotel
Otsu

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。



「プリンスホテルズ&リゾーツ」が贈る、ハワイ・ハネムーンまたは国内3泊プレゼント

※2016年1月1日からの結婚（挙式および披露宴）が特典の対象となります。詳しくはブライダル係へお問合せください。

大津プリンスホテル

〒520-8520 滋賀県大津市におの浜4-7-7
www.princehotels.co.jp/otsu

ブライダルサロン TEL:077-521-2935 (直通)

平日 11:00A.M.~6:00P.M. 土・休日 10:00A.M.~6:00P.M.
火曜定休(祝日の場合は営業)

大津プリンスホテル ウエディング
Facebookページ
最新ニュースやフェア情報などをお届けします。

プリンスホテルズ&リゾーツ
公式アプリ無料配信中!



祝 大津商業高等学校創立百十周年

祝 創立百十周年

NPO法人 きもの文化技能協会



代表取締役 中江 昭亘
Terunobu Nakae



株式会社なかいち

〒604-8211

京都市中京区玉蔵町121(六角通室町西入)美濃利ビル306

TEL. 075(223)4510 FAX. 075(223)1806

☎ 0120-117-529 携帯 090-3472-2798

コスモ石油販売株式会社大阪カンパニー

〒550-0005 大阪市西区西本町2丁目3番6号

電話 06-4390-3300 FAX 06-4390-3314

経営理念 *Management philosophy*

暮らしのサービスステーション

高品質な石油製品の販売と安全で快適な
カーライフの提供を通じて豊かな暮らしを
支えるパートナーをめざします。

- 営業品目**
1. 石油製品および副製品の販売
 2. 自動車用品および部品の販売
 3. 自動車の修理、洗車ならびに車検の請負
 4. 石油化学製品および液化石油ガスの販売
 5. 道路資材、防水資材、建築資材、産業資材の販売
 6. 自動車および中古自動車の販売
 7. 損害保険代理業および生命保険の募集
 8. 自動車の賃貸業
 9. 太陽光発電の装置、設備関連機器販売

【コスモ石油販売株式会社ネットワーク】

- 本社所在地** 〒104-0032
東京都中央区八丁堀4丁目7番1号 第3桜橋ビル7F
- 電話** 03-6891-9900
- 地域カンパニー** 東北、北関東、埼玉、東関東、東京、山梨、浜松、
名古屋、東海、三重、京阪、大阪、兵庫、山陽、
四国、九州、南九州
- サービスステーション** 直営565ヶ所、特約店383ヶ所

祝 大津商業高等学校創立百十周年

祝

大津商業高等学校創立百十周年

昭和33年卒・喜寿記念

式典・祝賀会 参加 及び協賛者

和	和	吉	山	山	松	馬	早	名	中	徳	川	小	井ノ口
田	田	竹	本	本	井	場	樫	田	村	永	村	幡	順
		恒	幸		正	正	俊		雅		享	房	一
武	明	明	江	博	一	忠	夫	晃	俊	正	司	義	

初宮詣・七五三・結婚式・諸祈願他



近江神宮

〒520-0015 滋賀県大津市神宮町 1 番 1 号

TEL 077-522-3725 FAX 077-522-3860



おめでとう!!

創立110周年



株式会社 笹川組

www.sasakawa.co.jp

祝 大津商業高等学校創立百十周年

太陽光発電システム
オール電化

ISO 9001
認証登録企業

OSK

大崎設備工業株式会社

代表取締役 社長

大崎 裕士
Ohsaki Hirohito

本社 〒524-0013 滋賀県守山市下之郷二丁目5番8号
電話(077)582-9530 FAX(077)582-7078
高島営業所 〒520-1111 滋賀県高島市鴨1573番地
E-mail: hirohito@oskc.co.jp URL: http://www.oskc.co.jp
携帯: 090-3358-6945

税理士法人たけばた総合会計

税理士 竹端孝男 (昭42年卒) 社員 竹端初美 (昭52年卒)
// 竹端俊貴 (平11年卒) // 杉山賢悟 (昭61年卒)
// 竹端美紀 // 脇島勝美 (昭61年卒)

〒520-0242

滋賀県大津市本堅田二丁目1番24号

Tel 077-573-3636 Fax 077-573-3002


日本旅行
NIPPON TRAVEL AGENCY

旅の事なら

お任せ下さい!

THANK YOU
110
TH ANNIVERSARY

貨物自動車運送業 運送取扱事業 通関業 産業廃棄物収集運搬業

グロービック株式会社



代表取締役 八木 正

本社 〒520-0804
大津市本宮1丁目5番33号
TEL(077)526-3826 FAX(077)525-3657

敦賀支店

神戸支店

MS&AD

あいおいニッセイ同和損保

祝 創立 百十周年



蓮葉保険株式会社

〒520-3037 滋賀県栗東市北中小路29-11 【TEL】077-552-6378 【FAX】077-552-6376

祝 創立 百十周年



株式会社 蓮葉
れんよう

代表取締役 栢木 進 (昭和50年卒)

〒520-3037 滋賀県栗東市北中小路29-11 【TEL】077-552-6378 【FAX】077-552-6376

祝 大津商業高等学校創立百十周年

Yasu Sports CLUB BOX BASKETBALL

Gain the Summit

株式会社ヤススポーツ 〒520-2331 滋賀県野洲市小篠原1-161-1 <http://yasusports.shiga-saku.net/>
TEL 077-587-1451 FAX 077-588-1945 e-mail yasusp@myb.biglobe.ne.jp

道路舗装・各種外構・土木工事

滋賀県知事許可 第12139号

株式会社
キタギロード

☎(077)578-0721
大津市唐崎四丁目853-3
FAX(077)578-8949

創業明治5年

きものサロン 清々庵

清水屋

大津市大門通3-24 ☎077-522-5298(代)

祝 創立百十周年

一層のご発展をお祈りいたします

同窓会副会長 馬場正忠
(昭33年卒)

祝 110周年

山田整形外科病院

院長 山田 忠尚

大津市本堅田5丁目22-27

☎ 077-573-0058

佐野(小嶋)恭子(昭50年卒) 伊藤(津田)恵美(昭53年卒)
春山美和(平4年卒) 磯野(上田)洋子(平10年卒)
柴田佳奈子(平11年卒)

賃貸アパート・マンション・テナント貸



住まいのトータルコーディネーター

株式会社 **大生産業**

本社 〒520-2331 滋賀県野洲市小篠原1979番地 TEL.077-586-3456
瀬田支店 〒520-2153 滋賀県大津市一里山2丁目14番18号 TEL.077-543-3456

【グループ会社】
株式会社大生産業 大津 〒520-0802 滋賀県大津市馬場2丁目6番13号 TEL.077-510-3456
株式会社大生産業 守山 〒524-0041 滋賀県守山市勝部1丁目16番27号 TEL.077-581-3737
株式会社大生産業 京都 〒600-8217 京都市下京区七条通局丸西入東境町172番地 TEL.075-371-3456

Photo studio
TATEOKA

プロがとらえる たしかな写真

有限会社

立岡写真館

一級写真技能士 立岡 功成

草津市大路1丁目5-15 TEL 077-562-0128

FAX 077-565-3754

草津市野村2丁目6-3 TEL 077-563-2518

FAX 077-565-5728

URL <http://www.tateoka-photo.com/>

祝 大津商業高等学校創立百十周年

太陽光発電とリフォームもやっている
プロパンガスの会社

山川株式会社 ガス事業部 滋賀支店

TEL077-585-1198 fax077-585-2987 <http://www.e-yamakawa.jp/>

 **BAMBA SPORTS**

有限会社 バンバススポーツ

〒523-0893 滋賀県近江八幡市桜宮町289 フジビル4F

TEL (0748) 31-0037 FAX (0748) 31-0038

E-mail : bamba-sports@mue.biglobe.ne.jp

滋賀県立大津商業高等学校創立百十周年記念事業実行委員会

栢 木 進	堀 井 善 之	西 岡 喜 市	佐 野 高 典	松 井 正 一
古 川 亘	竹 端 孝 男	小 島 俊 明	竹 内 基 二	内 田 知 明
佐 野 恭 子	桐 田 真 人	奈 良 義 行	大 野 善 樹	木 原 温 子
勝 馬 正	島 田 志 津	服 部 弘 美	奥 村 伸 司	古 橋 敦 子
勝 啓 一	中 路 基 夫	馬 場 光 仁	榊 本 義 人	磯 村 禎 昭
辻 野 篤 哉	松 木 洋 之	戸 田 和 行	佐々木 正 彦	田 中 正 春
上 坂 喜美子	森 川 由里子	栗 田 優 子	弘 中 香 里	

あ と が き

本日ここに創立百十周年記念式典を迎えましたことは、大変喜ばしいかぎり
であります。

このプログラムに本校の略史を掲載致しましたが、2016年2月発刊予定の
「百十周年記念誌」より抜粋されたものです。いま、改めて本校の110年の歩み
をひもとくとき、幾多の変遷を経て今に伝わる大変重みのある歴史であると
いうことが実感されます。この間卒業生は2万5千余名を超え、それぞれに
各界において活躍されています。本校の社会的役割の重大性に思いをいたし、
本校のさらなる発展を祈念して「あとがき」といたします。

なお、冊子裏表紙の校章は歴代のものを掲載いたしました。

(創立百十周年記念事業実行委員会)



滋賀県立大津商業高等学校
創立百十周年記念式典

発 行 平成27年11月
発行者 創立百十周年記念事業実行委員会
印 刷 アインズ株式会社

